

センター後援行事

第7回 教育のアクションリサーチ研究会

報告者 佐藤 学(教職開発コース 教授)

実施日 2010年8月1-2日

於 ホテル大野屋(熱海)

企画と報告の概要

アクションリサーチ研究会は、本年度で7年目を迎える。本年度の実行委員会は、佐藤学、秋田喜代美、勝野正章、藤村宣之、河野麻沙美、それに福井大学の松木健一が担い、8月1日から2日にかけて、熱海市ホテル大野屋において、全国の教師、教育行政関係者、教育研究者300名以上の参加によって、以下の内容でシンポジウムとワークショップを開催した。

8月1日

セッションⅠ：シンポジウム 「学校経営の現代的課題＝教育の質向上を目指した組織づくり」

このシンポジウムでは、勝野正章(東京大学)、草川剛人(宝仙学園・元東京大学教育学部附属中学校副校長)、北川威子(元広島市祇園東中学校・校長)、稲葉義治(富士市田子浦中学校・校長)が、それぞれの学校づくりの経験と研究の報告を行い、的場正美(名古屋大学)と佐藤学(東京大学)が指定討論者となって、パネラーの報告に対するコメントを行った。

セッションⅡ：ラウンド・テーブル 「理解を深める学習課題とは」

このシンポジウムでは松木健一(福井大学)が司会をつとめ、市川伸一(東京大学)、佐藤雅彰(元富士市岳陽中学校・校長)、藤村宣之(東京大学)が、授業のデザインと展開における学習課題の意義と機能について具体的事例にもとづく話題提供を行って、鹿毛雅治(慶應大学)、佐藤学(東京大学)、無藤隆(白梅学園大学)が、指定討論者としてコメントを行った。

8月2日

セッションⅢ：授業づくりの事例研究 2日目の午前中は、3時間をかけて10数名のグループの分科会ごとに授業実践の2事例のビデオ記録にもとづく集約的な事例研究を行った。

セッションⅣ：パネルディスカッション 「授業のビデオ記録をどのように読み取るか—自分の視点と授業の観点」

このシンポジウムでは、庄司康生(埼玉大学)が司会をつとめ、高橋みずほ(浜之郷小学校)が授業のビデオ事例を提供し、市川伸一(東京大学)、柴田好章(名古屋大学)、松本敏(宇都宮大学)が、それぞれの授業の事実の観察の視点とその内容を話題提供した。

最後に、シンポジウムとワークショップの全体の総括として、最後に秋田喜代美(東京大学)が、「教育のアクションリサーチの展望」と題する講演を行って、2日間の研究大会を閉会した。